

# そこら

第6号

東近江の  
いいとこ  
いいひと  
見つける本

# そこら

第6号

- 1 目次
- 3 そこら高校生ライター  
東近江の気になるを深掘り!
- 12 アーケードに登ると見えた景色
- 14 田中製麺所
- 16 パスもり ちょこっとバス×子守り
- 20 50年森今昔
- 22 根付 -高山明恵さん-
- 24 心を整える 坐禅
- 26 ふしぎなドア探訪記
- 28 共同アトリエ soil
- 30 丁寧な暮らしを楽しむ -山本貞子さん-
- 32 三方よしの芋 清水芋
- 33 あのパンこのパン
- 36 丁子麩 東近江ソウルフード紀行
- 38 暮らしの中に息づいていた川「愛知川」
- 40 東近江 MAP





東近江市の気になるを深掘り!

## そこから高校生ライター

「青春を、<sup>カタチ</sup>本に残そう」そんな呼びかけに集まった市内の高校生たち。高校生ならではの目線で、東近江市の気になるところ、興味があるところを、企画から取材、撮影、記事の作成まで行いました。



### 企画の打ち合わせ

県下のWEBメディア「しがトコ」編集長 亀口さんから、取材の醍醐味をレクチャー!

取材の練習!  
聞きたいことを聞き出すには…。



本町商店街が気になる!  
ディープな感じで  
面白いお店がありそうで…。



おいしいコロッケ屋さん  
いっぱいあるよ!



中学校によって  
グッパの仕方とか  
違うのかな…。

高校生ライターが取材したページはこちら!

一步先へ  
いつもの通学路から  
足を踏み出して  
はじめての路地を曲がって

きっとそこには  
ワクワクするような景色が広がっている

なんだか胸がドキドキする  
この町のこと  
知れば知るほど  
好きになっていく



## HONMACHI 93 ちいさな喫茶店



商店街の中でも一際目につく建物が、ヴォーリズ建築の住井邸。築90年越えの洋館は複合施設『HONMACHI93』へと改装されました。その中の1店舗が『ちいさな喫茶店』です(『COUYA』から名前が変更となっています)。取材した時は店主の北浦さんが旅に出ていて、お知り合いの田村さんが一人で切り盛りされていました。田村さんは海外へ行き、写真を撮ることが趣味で、店内には美しい写真が飾られています。また、施設内の店員さんはみんな仲が良く、シェアハウスをする人もいます。

店内は落ち着いた雰囲気、おしゃれな洋楽が流れています。お客さんは常にいて、お昼過ぎにはメインメニューが完売してしまうほど。客層はコーヒー好きの大人世代が多いですが、中には中学生の常連さんもいます。

ちいさな喫茶店 TEL.070-5501-5969

高校生向けのメニューは今週の手作りケーキ(430円)。高校生なら東近江製のひやしあめをミルクに注いで飲むひやしミルクあめを割引価格(350円)で買うことができます。学生証を必ず提示して下さい。



## 佐乃屋精肉店



高校生におすすめの商品はコロッケ! 高校生以下なら割引価格(80円)で買うことができます。

佐乃屋精肉店 TEL.0748-22-2148

## 放課後

## 本町商店街クラブ

八日市駅

HNMACHI93  
パンカフェKOKON  
佐乃屋精肉店  
八日市まちかど情報館

FORTYNINERS



駅前グリーンロードからひと足。  
私たち高校生にとって「入ってみたいけど、なかなか入る機会がない場所」。そんな本町商店街にある高校生にオススメの店舗を探しました。  
本町商店街の何でも屋といえば八日市まちかど情報館。まずここでお店の情報を伺いました。教えてくれたのは本町商店街振興組合事務局にとめて22年の岡山篤子さん。岡山さんが教えてくれた昔の商店街の様子は、今とはずいぶん違うようです。  
岡山さんが八日市高生だった昭和45年頃は、本町商店街は多くの高校生たちにも親しまれていました。当時八日市高校にはブランク(自習時間)があり、生徒は商店街のさまざまなお店に立ち寄り、

みんなが集まる場所になっていました。  
「実は、最近の本町商店街も、新しいお店やイベントが増えて、若いお客さんも増えてきているんですよ」と話す岡山さん。  
岡山さんが高校生にオススメする放課後でも楽しめる4店を紹介しましょう!



意外と知らない

# となりの中学校事情



高校生になってこれまでより世界が広がり、「中学校の当たり前」が通じないことを発見。10校ある市内の中学校も十校十色。どんな違いがあるかを調べることにしました。

## 東近江市の中学校あるある調査

市内出身の現役高校生に中学校生活について聞き取りし、「中学校あるある」を調査しました。

五個荘中学校の子  
のお気に入り、窓  
から見える新幹線。

レールを走る音で  
ドクター・イエローが  
聞き分けられる子も!

こんなに  
違う!

玉園中学校の子  
は、なんと全員  
校訓が言える!  
「自主友愛」

船岡中学校の子  
の自慢は、  
「親子合唱」。

親子の絆が深まる♪

### 各中学校の"グッパ方言"

←ッパで別れましょ

など複数種類  
能登川

←ッパでじゃんけんぽい

など複数種類  
湖東

←ッパでほーいほい

五個荘

←ッパでほい

愛東

←ッパで

など複数種類  
聖徳、玉園、船岡

←ッパでほい

朝桜

←ッパで

など複数種類  
滋賀学園

←ッパのそりい

永源寺



「なんかめっちゃカッコいいお店ある!」「どんななんやろ?入ってみたい!」そう思っている高校生も多いのではないのでしょうか?

みんなが気になる本町商店街のイカしたアメカジショップ。その名もFORTY NINERS。

「自分にお洒落なんかできるかな?」そんな人でも大丈夫!優しいお洒落番長の店員さんが親身に相談に乗ってくれます。普段、自分では選ばないような服で、いつもと違う自分が発見できるかも!

また、ジーンズを作っている工房はお店の近くにあり、外から製作過程が見えるので、ぜひ寄ってみる価値あり。

お小遣いを握りしめて、ちょっぴり背伸びしたお洒落を楽しみませんか?

FORTY NINERS TEL.0748-23-4762



高校生におすすめの商品は、アメカジTシャツです。高校生には商品購入し、学生証を提示すると素敵なコインケースをプレゼントしてくれます。



### パンカフェKOKON~江近~



本町商店街を歩くと目に飛び込んでくるかわいいパンカフェ。扉を開けると広がる美味しそうなパンの香りに、大きなパンのクッション。お店の中はパン一色。ふわふわしたパンやワッフルなどのスイーツ、また、パンだけではなく地元で採れた食材を使用した健康的で美味しいご飯がお腹一杯食べられます。

フレンドリーな吉田店長の周りにはいつも笑顔のお客さんで一杯です。

テスト終わりのご褒美などに美味しいパンや地元食材のご飯で元気になりましょう。

パンカフェKOKON~江近~ TEL.0748-29-3645



高校生は学生証提示で、店長さんおすすめの2種類のトッピング付きワッフルを割引価格200円で買うことができます。

ご協力  
お願いします

# 街頭インタビューを行いました。

これに  
一票！



## 結果発表!

winner!



- 1位 滋賀学園中学校 24票
- 2位 永源寺中学校 9票
- 3位 玉園中学校 7票

回答者: 60人  
実施場所: 八日市駅、アピア



## 街の声から...

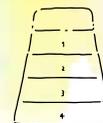


- 玉園中学校
  - ・色が好み。
  - ・出身校だから思い入れがある。
- 永源寺中学校
  - ・紺色が好み。
  - ・腕のところのラインがおしゃれ。
- 滋賀学園中学校
  - ・落ち着いたデザインがいい！
  - ・マークとラインが好み。

どれが好み?

# 体操服・総選挙

sports uniforms general election



色味、デザインなど、体操服も各中学校でさまざまです。まち行く 60 人から人気投票を行いました。



船岡中学校



愛東中学校

永源寺中学校



五箇荘中学校



玉園中学校



湖東中学校



能登川中学校



聖徳中学校



朝桜中学校



滋賀学園中学校

Q 取材でわかった、東近江市の新発見や魅力は？

東近江市をもっと盛り上げたいと思っている人や、東近江市のことが好きな人がいっぱいいることがわかりました。また、町中をぶらぶら散歩するだけでも味のある看板やお店が発見できて楽しいと思います（園城）



本町商店街でみんなで昼食を食べるまで、東近江市にこんな素敵な場所があるとは知りませんでした。本町商店街には歴史ある店が並んでいて、とても魅力のある場所でした。（榎本）



古くからの歴史を守るだけでなく、地域を賑やかにするために新しいことに挑戦していくところ！（中川）



Q 参加してみて…

普段あまり行かないところについて知れたり、話し合いの中で他の学校の様子を知ることができました。（青山）



打ち合わせなどでアイデアを出し合い、自分達が本当にやりたいことをできたのが嬉しかったです。実際に文章を書くのは難しかったけど、本町商店街の魅力やお店の方の思いを知ることができて良い経験になりました。（小谷）



私は出会いは宝物だと思っています。「そこら」の高校生ライターに応募したのもその気持ちがきっかけでした。「そこら」を通してたくさんの人と出会い、お話しして、自分の住んでいる東近江市を改めて知れたことは、これからの私の大きな糧となり、また宝物になりました。もっと長くしたかったと思うほどあっという間でしたが、「そこら」編集者さんをはじめ、協力してくださった方々に感謝しています。ありがとうございました。（山北）



自分が全く知らない東近江市の魅力がこの体験を通して知ることができて良かったです。また、自分は新聞部という立場からも取材のコツや地域情報誌はどのようにして出来ているのか等様々なことを学ぶことが出来た貴重な体験でした。（小島）



みなさんお疲れ様でした！素敵な記事をありがとうございました！



Q 高校生ライターをやったよかったと思うことや、楽しかったことは？

他校の高校生ライターをはじめ、「そこら」編集に関わる方や取材を受けてくださった方々と交流出来たこと！（中川）



他の学校の人達と交流出来たこと、みんなで企画したり取材したりしたこと。（青山）



自分と同じ思いの高校生や、市の職員さんに出会えたこと。人の輪が広がりました。もっと東近江市が好きになりました！（園城）



ライターとして集まったみんなで、どんなことを記事にしたいか話し合ったことです。最初はたくさん意見がでて、そこから自分たちが特に興味があるものを選んで詳しく調べていくのが楽しかったです。（榎本）



Q やってみて、難しかったことは？

街の人にアンケートに答えてもらうことが慣れなくて大変だった。難しかった。（青山）



段取りよく限られた時間で中身を考えること。（園城）



アンケート作りやアンケートの取り方など初めての挑戦で、答えてほしいことが上手に伝えられませんでした。（榎本）



限られた取材時間でいいお話を聞き出すこと。（中川）



【気になるお店】

## HON6GARDEN

『HON6GARDEN』は、2018年10月にオープン。まさに新たな活気をつくり出すことを目的に、東近江市が本町商店街に隣接する古民家を改修したものです。ここには飲食店とカフェが軒を連ねており、今回その1つ、『魚や楓江庵』にお邪魔しました。伊勢志摩の魚介類や地元野菜、地酒を楽しむお店です。格子の美しさを生かした外観や、当時の建具を生かした室内など、昔の面影が色濃く残っています。お近くに来られた際にはぜひのぞいてみてはいかがでしょうか。

『HON6GARDEN』の敷地内には、3つのお店があります。母屋を改修した『魚や楓江庵』の他にも、蔵を改修した、ちょっと大人の雰囲気の中、地元の食材で作った惣菜やランチ・ディナーを楽しめる『蔵・Le rond・K』と、訪れた人がみんな笑顔になれるそんなお店を目指し、店主こだわりのランチが楽しめる『キッチン Laugh!Cotan』があります。

ホームページ

<https://hon6garden.wixsite.com>

### 魚や楓江庵

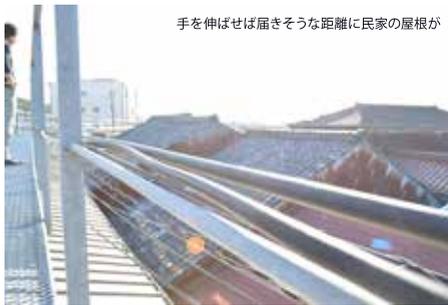
八日市本町6-9  
(HON 6GARDEN 内)  
☎ 0748-20-2139  
昼 11:30 ~ 14:30  
夜 17:00 ~ 23:00



遠くには箕作山の姿



手を伸ばせば届きそうな距離に民家の屋根が



ホース格納庫と通路



放水口



足元はこんな感じ。下が見えてこわい!



## アーケードに登ると 見えた景色

八日市駅前にある「本町商店街」。今回は、少し違ったところから本町商店街を見ることに。そこは…本町商店街のアーケードの上。普段は年に一度、商店街の方が安全点検でしか登らない屋根の上を、今回特別に登らせていただくことになりました。

取材当日は快晴。これから見る景色に期待がふくらみます。目の前に現れたのは、ほぼ90度の階段。一歩踏み外すと大けがをしましてしまいそうな階段を慎重に登ります。登った先に見えた景色は、きれいな青空と、まるで電車が連なっているかのように延々と続く屋根でした。

屋根の両側の網目になっている通路を慎重に歩きます。下が透けて見えるので、高いところが得意な私でも、足がすくみます。

通路に立つて眺めると、普段は見えない商店街のお店の屋根がずらり。アーケードの中から見ると、お店の入口しかわからないのですが、上から見ると一つ一つのお店の形や様子がよくわかります。レトロな建物、新しい建物、そしてその先には駅前のホテルや、さらに遠くには箕作山の姿も見られ、古いものと新しいものが融合したまちの姿が望めます。

佐乃屋精肉店の平岩さんにお聞きすると、この通路がつくられたのは、防災のためとのこと。アーケードの上には放水設備が設置されていて、火事の際は、そこから放水し、消火します。このアーケードは、雨だけでなく、火事からも商店街を守る大切な役割を果たしているのです。

# 世界中で食される "made in Yokaichi"の乾麺

## 田中製麺所

滋賀県で1軒しかない乾麺の製造所が本町商店街にありま  
す。田中製麺所の創業は明治39  
年。2018年で112年にな  
りました。お話を伺ったのは、  
現在4代目であるご主人の奥さ  
ま依里子<sup>よりこ</sup>さん。麺を買いに行く  
といつも笑顔で対応してくださ  
います。この日もお店のことを、  
とても楽しくお話ししていただ  
きました。



いろいろな乾麺。よもぎそば、茶そば、モロヘイヤそばなども



乾麺はこうしてちよっと折って鍋に入れられたりできるからね、と実際に  
見せてくださいました



書ききれないほどたくさんお話し  
いただきました

製造所の入口が販売所のため、  
お店に入つてすぐに目に入るの  
は箱積みされた様々な乾麺。昔  
ながらのシンプルなパッケージ  
に心惹かれます。スーパーでは  
見かけないなあと、ずっと思つ  
ていた疑問をお聞きすると、な  
んと今は9割が海外向けに作ら  
れているとのこと。

輸出先はドバイ、ベルギー、  
イギリス、香港、台湾、オース  
トラリアのシドニー、メルボル  
ン、アメリカのデトロイト、オ



ークランド……と、書ききれな  
いほどたくさん。今海外で日本  
の乾麺が人気なのだそう。パッ  
ケージもそれぞれの国ごとにこ  
だわりがあり、色やデザインも  
細かく指定されています。また、  
麺の仕様も、長さや束の数など  
様々です。そこで最も大事なの  
が、海外基準のオーガニック(有  
機加工食品)認証を受けること。  
そのために、材料の生産地から  
製麺所に至るまでの流通経路を  
辿るなど、細かな項目を専門の  
調査員が厳しくチェックしま  
す。年に一度、一日かけて調査  
していくというから驚きです。

手で折って、長さや茹で方を変  
えれば離乳食や介護食にもびつ  
たり。材料もシンプルなので、  
安心安全です。また、「乾麺は伸  
びにくいので鍋料理に重宝しま  
すね」。田中家の大みそかは、大  
きな鍋でそばを食べて年越しさ  
れるのだそう。

「乾麺を作るのは」本当に大  
変です」と依里子さん。夏には、  
室温が50度にもなる乾燥場で作  
業をします。そんな大変さを知  
るからこそ、誰かに継いでほし  
いと簡単には言えないと仰いま  
す。それでも、こうして受け継  
がれてきた手仕事の技術。田中  
製麺所の麺のファンの一人とし  
て、長く続いてほしいと願って  
います。



創業時の営業許可証



茶そば



海外のパッケージ。日本では  
見ないような色みやデザイン  
も多い

**question**  
東近江のおすすめはどこ？  
永源寺に杉のない溪谷があって、  
そこから見る紅葉がとてもきれいです。



**田中製麺所**  
八日市本町6-15  
☎ 0748-22-0366  
9:00~17:00  
日曜・祝日休

ちよこつとバス 愛東線・北回り でぶらり♪



りゅうじんくん (4歳)  
よいうちろうくん (4歳)

START  
市役所前  
am 9:13

「市役所前」で乗車



まだかな〜

Check  
ちよこつとバスの運行本数は  
限りがあります。事前にしっか  
りとルートを検討して楽しんで  
ください!



バスきたよ!  
わーい★



おりませーす



どんな景色が見えるかな?



よろしく  
おねがいしまーす

バスの降車ボタン  
押すのうれしいよね♪

まだまだ続くよ  
次のページへgo!

- ・運賃は乗車毎に 200 円です  
(小学生 100 円、小学生以下は無料)  
小学生以下無料は大人1人につき2人まで
- ・1日乗車券 (500 円) もあります

ちよこつとバスってなあに?  
東近江市が委託して運行している定時定路線のバスで、愛称が「ちよこつとバス」です。買物や通院、通学など日常生活に密着し、市内で9路線を運行しています。  
それ以外に、予約制乗り合いタクシー「ちよこつとタクシー」の運行区間もあります。運行ルートや時刻表など詳しくは市ホームページをご覧ください。詳しくは [ちよこつとバス](#) で検索



# ちよこつとバス×子守り バスもい

今回は!  
ちよこつとバス  
愛東線・北回り  
に乗りました

- 【今回のルート】
- 市役所前
  - 百濟寺本坊前
  - 百濟寺
  - 愛東支所・診療所前
  - 愛東図書館
  - 平和祈念館
  - あいとうエコプラザ
  - 菜の花館
  - あーとっ
  - マーガレットステーション
  - 市役所前

子どもと一緒に何して遊ぼう?と悩んでしまうことはないですか?近くへのお出かけもちよこつとバスを使うと遠足気分を楽しめ、子どもも大満足!今回は、愛東エリアをちよこつとバスで巡り、子どもと楽しみます!

YEAH!



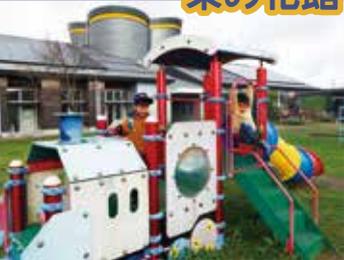
# 愛東支所 ・診療所

am 10:44

「愛東支所・診療所」  
で降車



# あいとうエコプラザ 菜の花館



遊具もあるよ

# 愛東図書館



借りた本は市内のどの  
図書館でも返却できます



アットホームな雰囲気か魅力

# 平和祈念館



プロペラ大きい!



am 12:22

「マーガレットステーション」  
から乗車し、「市役所前」に  
戻って終了!



# パパからのアドバイス

トイレがどこにあるか事前にチェック  
しておくといいでしょう★  
バスを迷すと、帰れなくなってしまう  
ので事前の計画をしっかりと!!

おいしいな☆

# あいとうマーガレット ステーション



ジェラート食べよう!  
何味にする?



am 10:34

「百済寺本坊前」  
で乗車

# 百済寺「百済寺本坊前」 本坊前

で降車

am 9:39



バス停の前でパシャリ

お参りしよう

# 百済寺



もみじのカーペットきれいだね

NICE ✨

池もあります。鯉もいるよ



記念スタンプをポン!

ちょっと休憩



にゃん

秘密じゃない秘密基地



初めて友達に50年森へ連れていってもらった時には、犬の白骨化した頭蓋骨があつて、怖い思いをしました。けれど行けば「何かある」発見の多い森でした。

2011年に中野地区まちづくり協議会を中心とする総勢約650人ものボランティアさんの努力があります。不法投棄されたゴミ(800袋分)の対処から森の整備を始められたそうです。今そうして森は、子どもの頃の記憶にある、うっそうと生い茂った森から、地域の子どもの遊び場へと生まれ変わりました。森の中は、森の木々を使って作ったブランコや、

秘密基地のような遊具まであります。今も中野地区まちづくり協議会では、月に2度ほど継続して森林整備のボランティア活動をされているそうです。地域の方々のこういった活動があつて50年森は甦ったのですね。

でも、どうして「50年森」という名前なのでしょう。50年森の謂われについては

森の中央には、寛政3年(1791年)台風水害がおこり、住民の願いにより江戸時代に飛び地として治めていた仙台藩が洪水対策で築堤した「万石堤」と呼ばれる堤防が残されています。

ようこそ秘密の森へ

# 50年森今昔



「大風通り」からみえる50年森の看板

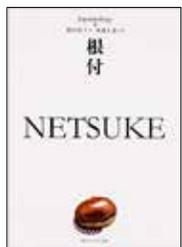
大人になり、自分の暮らしている東近江市の風景の中に、実は素敵な所や魅力がたくさんある事に気づきました。そんな魅力的なスポットの一つをご紹介します。

大風通り(県道52号栗見八日市線)に面する、東近江市社会福祉センターハートピア前に、『50年森』と書かれた看板があるのをご存知でしょうか。

今から30年程前、旧八日市南小学校に通っていた私は、よく友達と一緒に学校の帰り道や休みに「50年森で探検しよう、何か面白いもんあるかもしれない」といわずら心をくすぐられ、遊びにいったものでした。当時の50年森は、うっそうと木が生い茂っていて、私たちはカブトムシやクワガタを捕まえたり、森の地形を生かした遊び(かくれんぼ、サバイバルゲーム)を延々としていました。

諸説あります。【昔この地にはお寺があつたと言われていました。この事から、念仏を十回唱える意の十念森と呼ばれていたのが変化して、50年森となったという説】と、【台風水害が50年に一度起こる事から、堤防の周りに植林をしたので50年森という説】があり、どちらも定かではないようです。

根付制作の作業を見せていただくと、その緻密さに驚かされます。拡大鏡を通してやっと見える、繊細な衣服のひだや髪の毛の流れ。根付の材料として高山さんはツゲの木を使われています。木目がきめ細かく小刀での細工にぴったりで、やわらかい味が出るのがお気に入りだとか。「手のひらに収まる小さな世界で、人間の感情が絡み合う。それを表現するのが何とも面白い」と高山さんは複数の人物をモチーフに根付を制作されています。そのためには「瞳」を表現するのが一番重要なようで、貝などを削ってわずか1、2ミリほどの目玉を何十個も別々に作り、その中からぴたり合うものを選んでいきます。何とも根気が必要な作業にまたも圧倒されました。制作期間を尋ねると「自分が納得いくまで」ときつぱり。完成



「根付 NETSUKE」  
 (駒田牧子・渡邊正憲 監修  
 KADOKAWA)

123Pに高山明恵さんの作品「袈裟と盛遠」が掲載されています。

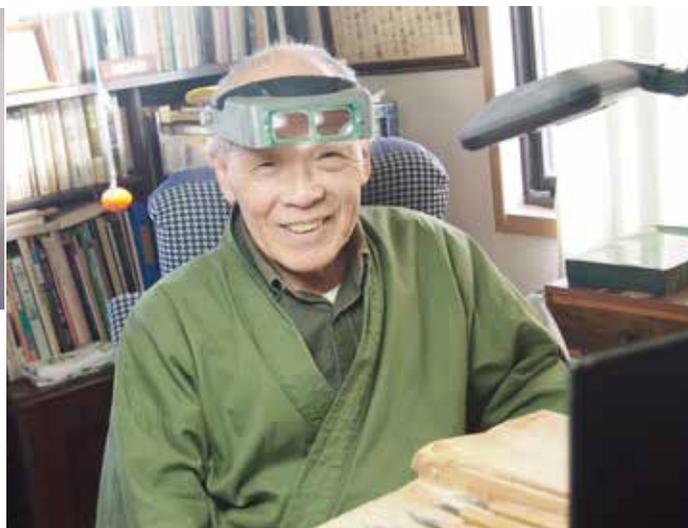
間近の作品を手のひらで愛おしうにさすっておられました。もともと実用品だった根付は、ただ鑑賞するだけでなく手に持つて愛でることでもいえない艶や味わいが出てきます。「他の美術品と違って作品をひっくり返し、色々な角度から見ても楽しめるのも根付の魅力の一つ」とも。  
 「限度はあるが、やはり小さければ小さいほど面白い。これからも続けられる限り、自分が面白いと感じるものを作っていきたい」。今後の作品の出来上がりが楽しみです。



## 手のひらの上の無限の世界

根付師 高山明恵さん

江戸の昔より、巾着や煙草入れを帯からさげる留め具として愛用されてきた根付。手のひらにおさまるほどの大きさの、人や動物を精緻に彫りこんだ工芸品です。身につけるのに邪魔にならない実用性と、わずか数センチメートルの世界で表現される美術性を兼ね備えた根付は、今なお国内外に多くの愛好家があります。  
 その根付のプロの作り手が蒲生地区に住んでおられます。「ありがたいことに根付づくりだけでやって来られた。もともと手先が器用という訳でもなかった。縁があったて始めた根付が自分に合ってたんだと思う」と語る高山明恵(本名・繁)さん。京都出身の高山さんは10代の時に、知人から根付作家の家に住込みでの働き口を紹介されました。それをきっかけに、60年にわたり根付を制作してこられました。



### question

東近江のおすすめはどこ？

### 蒲生地域

とても住みやすくて良いところ。

心を整える

# 坐禅

梵釈寺の朝の坐禅会と石馬寺の夜の坐禅会。二つの坐禅会に参加しました。

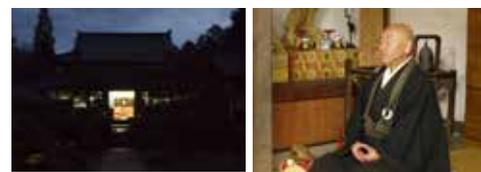
## 梵釈寺

まだ陽の昇らない早朝。薄闇が広がる梵釈寺のお堂の中、ただじつと座っていると、様々な音が聞こえてきます。風の音、鳥の声、時折ばらつく雨の音。

ご住職がゆっくり数えてくださるのを手本に、ひとつふたつと呼吸を数えます。これを数息観すうそくかんといえます。やがて太陽が昇ると、遠くから近江鉄道の電車が走るゆつたりとした音が聞こえてきます。

ご住職が前に立たれた時に、手を合わせ、頭を下げると警策けいさくと呼ばれる木の棒で背中を打つてくださいます。痛みはなく、心身が引き締まり気持ちがいい。

「坐禅は、自分を見つめる時間。周囲の音に耳を澄ませていると、自分が多くのもに助けてもらっていることに気付かされます」とご住職。初心者にも坐禅の仕方を優しく指導してください。



POINT

- ・服装…ゆつたりとしたズボンなど。  
(裸足になって足を組むので、ストッキングなどは避けた方が良い)
- ・座り方…片足を組む半跏趺坐はんかふざ。できる方は、両足を組む結跏趺坐けっかふざ。足が組めない方は、正座やイスでも可。
- ・座布団を半分にしてお尻の下に挟むと、楽に座ることができます。
- ・手の組み方は、宗派により異なります。

## 朝の坐禅



## 夜の坐禅

## 石馬寺

息が上がるような長い石段を登った先にある石馬寺。夜の本堂に案内していただき、闇の中にほのかな明かりが灯つていきます。神秘的で美しい空間の中、2〜3名ずつ向かい合って坐禅を組みます。

最初、ご住職から説明を受けた後は、声を発しない無音の世界。夜の山を吹き抜ける風の音が、遠くから響いてきます。

鐘の音に合わせて15分(二炷いっしゅう)の坐禅を3回、途中5分の休憩を挟んで行います。坐禅の後は、ご住職を囲んでの茶話会です。

「一期一会を大切に。人間同士が触れ合えるコミュニケーションツールでありたい」と語るご住職。坐禅の時とは違って変わって、明るくユーモアのある語り口に場が和みます。

### 石馬寺派 臨濟宗妙心寺派 いしばし 石馬寺

開催日：毎月11日、22日  
時間：午後7時30分～  
午後8時30分  
(終了後30分ほど茶話会)  
聖徳太子ゆかりの歴史あるお寺。石段の下の蓮池の中には、石となった馬の姿が。坐禅会をはじめたのは7年ほど前から。きっかけは、一人でも多くの方に坐禅の良さを伝えたいと思ったことから。

五個荘石馬寺町 823  
TEL 0748-48-4823

### 梵釈寺 黄檗宗 おうぼくしゅう 梵釈寺

開催日：毎月第三土曜日  
時間：午前6時～7時  
(終了後30分ほど茶話会)  
滋賀県では珍しい黄檗宗のお寺。ご本尊の宝冠阿彌陀如来像は、国の重要文化財に指定されています。坐禅会をはじめたのは10年ほど前から。1時間通しての坐禅ですが、初心者の場合、様子を見て時間を調整してさせていただきます。

蒲生岡本町 185  
TEL 0748-55-2701



### 坐禅を体験してみて

予想していたより楽に座ることができ、1時間はあっという間でした。ただ「座る」ということに集中できるひとときは、とても贅沢な時間に感じて、清々しい気持ちになれました。

両方のお寺とも、当日でも参加できますが、なるべく事前にお電話でご予約ください。

# 歴史の魅力とその裏側に会った……

## きっかけはドア

あの高いところについているドアはなんだろう？階段があるわけでもなく、開けたら落ちてしまいそうな場所にドアがある家を目にするのがあります。「言われてみればたまたま見かけるなあ」「気になるドア、調べてみたいですね」……。『そ



このドアです



ら6号』編集会議のとき、真っ先に出てきた企画がこれです。  
ところが、いざ取材を！と思っただものの、個人のお宅に

お話を伺うのは難しく……。この企画は無理かと思いついた矢先、能登川図書館の隣にある埋蔵文化財センターにもそんなドアがあるという情報が。行ってみようということになりました。

## 薄闇の中で

着いたのはもう日も暮れようという夕方5時。埋蔵文化財センターの所長・杉浦さんにそのドアのことをお聞きすると、「エレベーターに乗らないくらい大きなものが



薄紫のきれいな夕景が



発掘されたときにクレーンで搬入するため」のドアだということでした。そして今回は特別に、そのドアを開けて見せていただけること！

ドアがあるのは2階の収蔵庫。ここには東近江市内で出土した全ての出土品が保管されています。高く積みあがったケースや、所狭しと並ぶ収蔵資料は圧巻の光景。さて肝心のドアですが、開館以来



いよいよドアが開きます……

約20年ぶりに開きました!!



はきれいな夕日が……というわけにはいかず、夕日は既に落ちた後でした。しかし、ここはとても見晴らしがよい場所。日中であれば日当たりもよさそうで、読書でもしたら気持ちいいだろうな、などと妄想が膨らみます。束の間、みな周囲を眺めていました。なにはともあれ、ドアの秘密が解けてよかったです。

その後は、杉浦さんに説明していただきながら収蔵資料を見て回るといふ、思いがけず嬉しい展開に。淡々としながらも、とてもわかりやすく自然と興味がわく説明に「へー!」「そうだったんですか!」とつい声が出てしまいました。また、身近な地名が出てくる

## 収蔵庫は宝の山

とより興味深く楽しく見学できるもの。情報として知っていたことも、実際に目にしてお話を聞くこと



ましました。団体向けにはこうした裏側の見学も受け入れているとのこと。機会があれば、ぜひ体験してみてほしいと思います。大人の社会見学、いかがでしょうか。

たくさん収蔵資料に圧倒されます



「ここから搬入したことはありません」と杉浦さん。収蔵庫には、かなり大きなものもいくつかありますが、それらはエレベーターに乗ったとのこと



百濟寺で作られていた酒「百濟寺樽」に使用されていた大甕?



とによって自分の知識になっていくように感じ



きれいに金箔が残る安土城の瓦。完形で見つかったものはこの一つだけ。昭和24年に能登川中学校の生徒が安土山で発見しました

## 東近江市埋蔵文化財センター

山路町2225 ☎0748-42-5011  
開館時間 8:30~17:15  
休館日 土・日曜日、国民の祝日、年末年始  
入館料 無料





**1 奥田 誠一 おくだ せいいち** 立体造形 インスタレーション 平面

もともとは、地面や空間をアート作品に変えるインスタレーションと呼ばれる手法を主体に表現。窓辺に置かれたキラキラ光る透明樹脂を使ったオブジェを前に、「ひとつとして同じ切り口、同じ形はない。ひとりひとりの人間と重ねて見てもらえれば」。



**2 若林 亮 わかばやし りょう** 彫刻

「なぜ、自分は鉄にひかれるのか」そのことを知るためにも、鉄という素材に向きあい続ける。鉄を使った作品を作る中で、身の回りにいかに鉄がたくさんあるかということに気づかされたそう。「錆の匂いは血の匂いにも似て、生き物に近く感じられます」。



**3 江田 晃世 えだ こうせい** 絵画

白と黒の美の世界を創作。子どもや高齢者など、さまざまな方を対象にしたワークショップを行う。「アートという敷居が高く感じられるけど、何かを作ることによって、いろんな価値観に触れ、自由に、豊かになってほしい」。



**4 大東 真也 だいてう まさや** 彫刻

既製のびんを用い、独自の手法で変形させて表現。びんは人工の素材だが、生み出されるのは自然の摂理にしたがって、偶然に生み出された形。そこが面白い。



**5 合田 大智 ごうだ だいち** 狩猟 養蜂 ものづくり

「なぜ狩猟をはじめたかといえば、したいと思ったからです」。興味をひかれた道を、ひたむきに歩む。その手から生み出される鹿の角を使ったオブジェやカトラリーは、力強くありながらとても繊細。



**6 藤野 裕美子 ふじの ゆみこ** 絵画

光が揺れるような優しい雰囲気のある絵画を描く。奥橋さんの呼びかけに一番にこたえ、アトリエに入る。仲間たちとともに切磋琢磨しながら、集中して大きな作品にむかうことができる今の環境に満足。



**7 丸ちえろ Marcello** 大道芸 イベント企画

心踊るジャグリングなどで地元のイベントを盛り上げる。soilに入ったきっかけは、「元々芸術に興味があり、芸大にも通っていたので、地元のアートシーンに関わりたかった。そして色々なジャンルの方と関わり刺激をもらいたかった」から。

共同アトリエ soil (ソイル)

share atelier



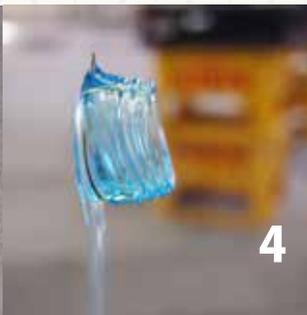
能登川駅近くに、若い芸術家たちが集まる共同アトリエが誕生しました。名前は「soil(ソイル)」。英語で「土」を意味します。その建物はもとも旧滋賀県土地改良連合の事務所でした。

空き事務所になっていたこの建物を「作品を作る場所がなくて困っている芸術家たちの活動拠点として活用したい」と能登川在住の画家、奥橋和典さんらが呼びかけ、7人の芸術家たちが集まりました。画家、彫刻家、狩猟とものづくり、大道芸と、彼らの表現方法は様々です。

このアトリエに集う一人、画家の藤野裕美子さんは、「ジャンルも使っている素材もバラバラなみんなが、場所と時間を共有することによって、それぞれの制作の刺激になれば」と語ります。

この場所からこの先どんな新しい作品が誕生するのか楽しみます。

共同アトリエ soil 垣見町 721-6



「個々の家庭によって食べる量も違うし、味も違う。だからこそ各家庭に合わせた味噌作りを大切にしたい」と貞子さん。「今は機械でできることが増えて、味噌の仕込みがずいぶん楽になった。でも、昔はすべて手作りで行っていた。だから手を使って温度やちょっとした感触を覚えることができた。機械を使うようになった今も、最後は、自分が昔学んだ感覚が頼り」と話されます。

貞子さんが営む、毎日工夫をしながら楽しむ丁寧な暮らし。取りすぎた野菜は、干して漬物にする。自分の家庭に合った味噌を仕込む。少し時間はかかるけれど、暮らしに手間暇をかける喜びは、今の時代には失われつつあることなのかもしれません。そうした暮らし方を、貞子さんは次の世代へとつなげていきたいと願っています。

question  
東近江のおすすめはどこ？

晴れた日の百濟寺本町  
びわ湖までが一望できる。



## 丁寧な暮らしを楽しむ

やまもと さだこ  
山本 貞子さん

今回、取材をさせていただいたのは、愛東地区に住む山本貞子さん。地区では、味噌作りの名人として知られており、『あいとうマーガレットステーション』で手作り味噌を販売されています。貞子さんは味噌作りを始めて50年以上になる大ベテラン。これまでの経験から生み出された数々の知恵や感覚で、とてもおいしい味噌を作られます。そんな貞子さんにお話を伺いました。

雪が舞い散る寒い日。貞子さんはお家の一角にある工房で、近所の方と一緒に、今年一年分の味噌を仕込まれていました。近所の方だけでなく、遠方からも「おいしいくて、それぞれの家庭に合わせた味や量の味噌を作らせてもらえる」と評判を聞きつけて、多くの人が教えを乞いに来られるそうです。

## あのパン このパン



おいしさ、安心・安全。そのどちらにもこだわっておられる市内のパン屋さんをたずね、イチ押しパンを聞きました。やさしさの味、めしあがれ。

## ワイルドキッチン石窯パン工房



店主 堀内 悟さん  
 住所 池之脇町 473-2  
 TEL 0748-56-1292  
 営業日 金～日曜日・祝日  
 (イベント出店による休みあり)  
 営業時間 10:00～17:00  
 開業年 2016年

Pain de campagne



定番商品「カンパーニュ」。小麦を粒で仕入れて石臼で挽いているのでとても新鮮。噛むたびに小麦本来のうまみを感じることができるパン。

3～5種類の生地にそれぞれ合うよう、3種の酵母を使い分けるこだわりのパン。「お店に買いにきてくれるお母さんだけでなく、その子どもさんも口にする、つながっていく食べ物だから」と全粒粉100%のオーガニックパンや東近江産の野菜や果物を使った季節のパンが並びます。ご夫婦でこだわってつくられた手作りのお店も必見。



三方よしの芋

## 清水芋

しゅうずいも

味よし、健康によし、環境によし。

里芋はお節料理やおふくろの味に欠かせない食材。栄養価が高く、健康や美容によいともいわれています。実は東近江にしかない美味しい里芋があるのをご存知ですか。名前は「清水芋」。湖東地域で栽培されている在来作物です。色が白く、甘みが強くてやわらかいのが特徴。わざわざ遠方から買いに来られる方もいるほどの美味しさです。今は北清水町の5軒の農家だけで生産されています。環境にもこだわって農業は年に1回だけしか使わず、収穫から出荷まですべて手作業でされています。「別の地域で育てると味が変わってしまう」と教えてくださったのは、清水芋出荷組合の山川和雄さん。「昔からずっと作つとつたから、土と里芋の相性がいいんやろなあ」。おすすめのレシピを尋



茹でた芋に、柚子のみじん切りを散らし、みりん・砂糖・柚子の絞り汁を混ぜて火にかけてものをサッとかけて。口に運ぶと優しい甘さが広がります。

ねると、「わしは昔から食べてる、イカと煮たのが好きやなあ」と笑顔で答えてくださいました。里芋の旬は秋から冬。大量生産はできないため、湖東地区の味咲館と愛東地区のあいとうマーガレットステーション、地元の物産イベントなどで販売されています。

## コココビヨリ



店主 山中 昌子さん  
住所 横溝町 2125-2  
TEL 090-3036-3022  
営業日 水・木曜日  
営業時間 10:30 ~ 15:30  
開業年 2013年

「日常にトキメキを」をコンセプトに、植物性の食材だけを使って、アレルギーのある人もそうでない人も同じものを一緒においしく食べられるように考えられたベジバーガー。「ジャンクフードっぽいのに安心安全で美味しい」ものを目指して、カラフルな野菜をふんだんに使い、見応え、食べ応えたっぷり。

「<sup>くるまふ</sup>軍麩をはさんだボリュームたっぷりのカツバーガー」。永源寺の『ガレージ パン日和』さんの天然酵母パンを使い、東近江の野菜もたっぷりのベジバーガー。

KURUMAFU  
KATSU  
Berger



## 石釜パンつむぎ

店主 高橋 幸恵さん  
販売所 東近江市役所内「Mitte」  
TEL 080-3110-0093  
販売日 金曜日  
営業時間 11:30頃「Mitte」の店頭並びます  
開業年 2012年



「余計なものを入れず、シンプルに」がモットーの自家製天然酵母のパン。生産者の顔が見える素材を使って安全でおいしいパンを目指しています。卵やバターを使わず、高橋さんが厳選したこだわりの小麦と塩、そして何と言っても鈴鹿の山から流れる湧水で生地をつくるのが、おいしさの決め手です。



永源寺のもみじまいたけをふんだんに使った「まいたけピザ」。自家製のトマトソースとも相性バツグン。食べるとまいたけの香りが広がります。

※つむぎさんのパンは、市役所内にある地産地消のお店「Mitte」のほか、出店されているイベントで買うことができます。

maitake  
mushroom  
pizza



## ハムンダー・ベーカリー



店主 岩崎 将人さん  
住所 中小路町 404-6  
TEL 080-4022-3939  
営業日 月曜日  
(時間) (13:00 ~ 16:30)  
火~金曜日  
(10:00 ~ 16:30)  
土曜日  
(9:00 ~ 16:30)  
開業年 2018年

子どもたちに安心安全なものを目指して、国内産小麦と、東近江で作られた無農薬の野菜を使って日々のパン作りに取り組まれている岩崎さん。お客さんの声からうまれた、アレルギーでパンが食べられない人も食べることができる米粉パン(要予約)も人気です。



HIDAMARI  
bread

滋賀県産の無農薬全粒粉を使い、ドライフルーツとくるみがぎっしり。全粒粉の豊かな味わいと甘み、香ばしさが口の中で見事に混じり合います。

## 自家製酵母パン ひとつぶ



店主 中川 雄介さん  
住所 佐野町 657  
(ファブリカ村内)  
TEL 0748-26-5224  
営業日 月~水・  
土・日曜日  
営業時間 9:30 ~ 17:00  
開業年 2017年

イーストを使わず、天然酵母と東近江の地下水で作る「ひとつぶ」さんのパン。「発酵は季節によっても随分と違う。時間はかかりますが、待つことで生まれる滋味深さがあります」と中川さん。子どもたちによるこんでもらえるよう、白砂糖を使わず、やさしい甘さで飽きのこないパンが特徴。東近江産の無農薬野菜を使ったパンも楽しみのひとつ。



melon bread

一番人気は外側がサクサクの食感で、中も程よい甘さが口いっぱい広がる「メロンパン」。飽きのこないおいしさ。



1.丁子麩を作っているのは県内でも6軒ほど。洋介さんが一番若手だそうです 2.からし和えに使ったのはこの丁子麩 3.主に湖北で食されている滋養麩 4.洋介さんのお姉さんが作ってくださったお麩ラスク。麩を半分に取り、バターと砂糖を載せてオーブンで焼いたもの

## 東近江ソウルフード紀行

# ちょうじふ 丁子麩



飲み会や法事の時に必ず出される、私たちにとってなじみの深い「丁子麩ちょうじふのからし和え」。実は関西圏でも食べたことがない人が多いそうです。一口食べるとピリッとした辛みが広がります。その後甘酸っぱさが口に広がります。ほどよい味つけの丁子麩は、くせになる美味しさです。メインのおかずではないけれど、無いとなんとなく落ち着かない、「丁子麩のからし和え」。その材料となる丁子麩を作っているお店が東近江にあると聞き、お話を伺いました。

お店は明治43年創業。約110年の歴史があります。麩重商店の四代目・後藤洋介さん（33歳）は小学生の頃から、袋詰めや製品の

端切りの手伝いをしていたそうです。家業を継ぎ、丁子麩を作り始めて12年目ですが、代々受け継いだ味を守り続けていくのはとても難しく、作っている後ろからお父さんの厳しい目が光っていて、「ずっと修行です」と洋介さん。

特に忙しいのは10月から12月。観光客や年末年始の需要でほぼ休みなしで生産するそうです。ご両親とお姉さんと洋介さん、家族4人で全ての工程を手作りで行っておられます。夏の工場内の温度は38度、湿度も80%！釜の前の暑さといったたらたまらないそうです。逆に冬は極寒の2度。東近江のソウルフードはこのような厳しい環境の中、家族経営の手仕事で作られているのです。

そんな洋介さんに、丁子麩の一番の食べ方は？とお聞きすると

「やっぱりすき焼きですわね！」とのこと。確かに、お肉や野菜の味のしみ込んだ丁子麩は、家庭によって味が違って美味しいものです。他にも、バターと砂糖をまぶしたおやつは保育園で人気。細かく砕いてハンバーグに入れたり、チーズをのせてピザにするなど和洋何にでも合わせやすいのが、丁子麩の魅力とのこと。

今、ロンドンやスペインの日本料理店でも丁子麩が使われており、その味は着々と世界に進出しています。今まで以上に販路を広げたい、生産性を上げるためには、経営の多角化や機械化も必要ですが、そうすると味が落ちてしまう、と洋介さん。今までの製法を頑固に守り続けようとする姿勢から、職人としての心意気を感じました。



- 【作り方】
- ① 丁子麩をひとくち大に切り、水に浸し、しぼる
  - ② きゅうりは薄く輪切りにして塩でもんで、固くしぼる
  - ③ 粉辛子を水で溶く
  - ④ みそ、砂糖、酢、すりごまをすり鉢などで混ぜ、溶いた粉辛子を好みに応じて混ぜ合わせる
  - ⑤ ④の中に麩、きゅうりを入れ、混ぜ合わせて出来上がり

- 【材料】
- 丁子麩 (12個)
  - 粉辛子 (適量)
  - みそ (50g)
  - 砂糖 (90g)
  - 酢 (60cc)
  - すりごま 少々
  - きゅうり (1本)

### 丁子麩のからし和え

- 購入できる場所
- ・マックスバリュ東近江店
  - ・ショッパー桜川
  - ・奥永源寺 溪流の里
  - ・あいとうマーガレットステーション
  - ・きてか〜な など

### question

東近江のおすすめはどこ？  
家の裏に見える太郎坊さん。勝運の神様。病気の人も麩を食べて病気に勝って下さい！

ふじゅう 麩重商店  
小脇町1401-1  
☎0748-22-0587

# いのちの恵を人々にもたらし、 暮らしの中に息づいていた川「愛知川」



愛知川は、鈴鹿の山々からびわ湖まで、愛知川周辺の人々の暮らしに多くの「恵」をもたらしてきました。かつて誰もがこの川で魚を捕り、水遊びを楽しんだ。最近そんな話をしてくださる方が少しずつ減ってきています。だから今、昔の愛知川を記憶に残しておきたい。そんな思いから、どんな魚がいたのか、どんな風に魚を捕っていたのか、またどんな遊びをしたのかを、愛知川の近くに住んでいる地元の方たちに教えていただ

きました。  
今から50〜70年前は、川魚が豊富にいたそうです。今では、幻の川魚として有名な「ニジマス」「ビワマス」も愛知川にいたとのこと。また、愛知川は子どもたちにとって大切な遊び場でした。自然のプールとして、夏には水泳を楽しむ姿も見られました。今より川の流れが急で、台風や大雨のあとは水の量が大幅に増えて危ないので、遊ぶときは「みんなで行く！」が合言葉だったそう。年上の子どももた

ちが先導し、年下の子もたち遊び方を教える。そうして川での楽しみ方や遊び方を継承していったそうです。「愛知川の深いところには、首長竜が住んでる」という噂話があって、それを確かめるために探検に行ったわ」「1時間で50匹ぐらいの鮎が捕れたんやで」と楽しそうにお話される姿がとても印象的でした。

魚の捕り方も様々で、網を投げいれて魚を一気に捕る「投網」、かごを設置した追い込み漁「かごい」、棒状の「しゃくり」で突いたり、工夫を凝らしていたそうです。

「どうやったら魚が捕れるか考

えるのが楽しかったな」「投網漁が、一度にたくさん魚を捕れて、網を引き上げる時にわくわくして面白かった」「手掴みでも十分に捕れたで」と皆さん子ども時代に戻ったように話されます。  
今では想像できないほど人々のくらしに深く根ざしていた愛知川。そんな愛知川の記憶を次世代につなぎ、豊かな自然を守っていきたく感じました。



現在の愛知川上流



愛知川の昔を知るワークショップの様子



折り畳み型の「もんどり」。色々な形のものがある。魚が入ると出られない仕組みになっていて、中にエサを入れて沈めておく



建部南町にある網の専門店『池田漁網店』。店内には網の他にも、魚捕りに使う用具がたくさんある



「しゃくり」の先端部分



漁に使う投網。網目の大きさや数、重さなど、漁の方法で使い分けるため様々な網がある



昭和30年頃の琵琶湖での投網漁の様子  
(『浅岡利三郎写真が語る 昭和三十年代 湖国暮らしの表情』より)



こちらからバックナンバーをお読みいただけます  
<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/lib>



# そこら

第6号  
 2019年3月31日発行

編集・発行 / そこら編集委員会

## [編集協力]

東近江市立図書館  
 まるごと東近江実行委員会

## [取材や編集でお世話になった方々]

取材に協力いただいた皆様

## [お問い合わせ]

まるごと東近江実行委員会(東近江市観光物産課)  
 〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10-5  
 ☎ 0748-24-5662

東近江市立八日市図書館  
 〒527-0028 滋賀県東近江市八日市金屋2-6-25  
 ☎ 0748-24-1515 FAX 0748-24-1323

## [編集委員] (五十音順)

大澤 明 狩野 桃江 栗田 豊一 齋藤 民男  
 佐子 都 嶋村 映利佳 谷 佑一郎 富田 隆史  
 庭田 恭平 羽泉 亮太 松浦 純子 森下 瑠美  
 山梶 瑞穂 山口 美知子

## [編集委員 高校生ライター] (五十音順)

青山 拓未 榎本 千華 園城 梨湖 小島 拓斗  
 小谷 花彩 中川 真結 山北 穂乃佳



この用紙は「びわ湖の森を元気にする」  
 kikitoペーパーを使用しています。



## 紹介させていただいたお店・施設

- ① **パンカフェ KOKON ~江近~**  
八日市本町 7-8 (本町商店街)
- ② **ちいさな喫茶店**  
八日市本町 7-6 (HONMACHI93 内)
- ③ **佐乃屋精肉店**  
八日市本町 7-8 (本町商店街)
- ④ **FORTY NINERS**  
八日市本町 14-25 (本町商店街)
- ⑤ **田中製麺所**  
八日市本町 6-15 (本町商店街)
- ⑥ **魚や 楓江庵**  
八日市本町 6-9 (HON6GARDEN 内)
- ⑦ **麩重商店**  
小脇町 1401-1
- ⑧ **50年森**  
今崎町
- ⑨ **梵釈寺**  
蒲生岡本町 185
- ⑩ **石馬寺**  
五個荘石馬寺町 823
- ⑪ **東近江市埋蔵文化財センター**  
山路町 2225
- ⑫ **自家製酵母パン ひとつぶ**  
佐野町 657 (ファブリカ村内)
- ⑬ **ハムンダー・ベーカリー**  
中小路町 404-6
- ⑭ **ココココビヨリ**  
横溝町 2125-2
- ⑮ **ワイルドキッチン石窯パン工房**  
池之脇町 473-2
- ⑯ **百済寺**  
百済寺町 323
- ⑰ **愛東図書館**  
下中野町 431
- ⑱ **滋賀県平和祈念館**  
下中野町 431
- ⑲ **あいうエコプラザ菜の花館**  
妹町 70
- ⑳ **あいうマーガレットステーション**  
妹町 184-1
- ㉑ **八日市まちかど情報館**  
八日市本町 13-6
- ㉒ **共同アトリエ soil**  
垣見町 721-6

## 八日市地区市街地図





# そこら

第6号

2019年3月31日発行

編集・発行 / そこら編集委員会